



題字 ㊤ 末 吉 太 郎



ご 挨拶

近畿支部長 柚 本 アヤ子

薬窓会近畿支部の皆様には、つつがなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また日ごろは支部の活動にご指導、ご支援をたまわり、心から感謝いたしております。

支部長を拝命して2年、幹事の方々や、皆様に助けをいただきながら精一杯活動できたことを心からお礼申し上げます。

さて、母校では薬学部6年制が3年目を迎え、新カリキュラムのもとでの体制も軌道に乗りつつあると聞いております。限られた予算のなか、カリキュラムを充実させ、学生達の力を伸ばしていくのには先生方の大変なお力が必要です。私達薬窓会も何か力になれることはないか、卒後教育のお手伝いなどできることはないかと折に触れ、思案、検討しているところです。昨年、一昨年と開催されました薬学経済特講は、日医工設立の田村科学技術振興財団の後援のもと、薬業界の様々な分野の卒業生がそれぞれの立場で講義をしましたが、学生さんたちにも大変好評であったと聞いております。薬学部を卒業し、将来就職職業について、その道の先輩から情報を得ることは非常に参考になることでしょうし、人生の先輩として、自分達が歩んだ

道を次の世代に伝えるというのは喜びでもあり、使命でもあります。この取り組みが、薬窓会と母校の架け橋になり、あとに続く人たちへの指針になればと願います。

また昨年の大きな話題は、新富山大学に同窓会連合会が設立されたことでしょう。設立の準備段階ではその賛否を問うアンケートが、各学部同窓会の各支部宛、届けられ、近畿支部でも山金会、幹事会などで議論が交わされました。結果、昨年10月6日に開催の運びとなった富山大学同窓会連合会設立総会には近畿支部から渡辺幹事長（59回）が出席しました。今後の活動に期待するところです。

一方、薬業界においては、一昨年、薬局が医療提供施設と位置づけられ、ますます医療人としての責任が増してきたところですが、この春からは、処方せんの様式が変わり、後発品を調剤することが基本となりました。今までのように、記載された商品を調剤するのではなく、良質の後発品を選択する裁量が求められるようになります。ますます薬剤師の役割が重要になってくるでしょう。それとともに、今までは脇役であった後発品も主役になり、それぞれのメーカーにもより一層の情報が求められてきます。くすりの専門家がこぞって、より安全で、医療経済にも目を向けながらの薬物療法を目指して協力をしていかなければならない時代になるでしょう。そんな中、創薬、行政、教育界、現場の薬剤師など幅広い分野で活躍してこられた薬窓会の皆様の知恵と見識は、新しい時代への大きな糧となることでしょう。

今後とも一層のご指導とご支援をお願いいたします。

(58回卒)

(株) あい薬局 Eメール: aya-yumoto@gaia.eonet.ne.jp

# 富山大学21世紀COEプログラム 「東洋の知に立脚した個の医療の創生」の概要

富山大学和漢医薬学総合研究所

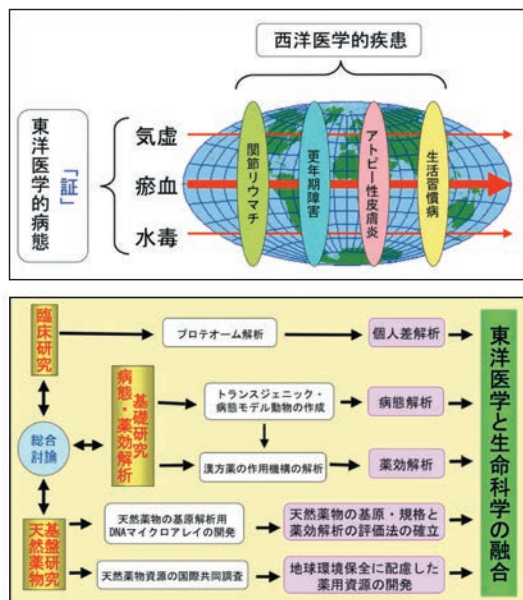
⑥ 小 松 かつ子

## <はじめに>

「東洋の知」は、人間存在を自然の中で生かされている心身一如の小宇宙として捉えている点で優れている。本COEプログラムは、西洋医学的に同一の疾患カテゴリーの中に多様性が存在することを、「東洋の知」の切り口で捉え、これを最新の技術を導入して遺伝子及びタンパク質のレベルで明らかにし、病態の個性性や個人差に基づく「個の医療」を創生しようとするものである。さらに伝統医薬に関する基盤研究を遂行し、資源の確保や永続的利用を可能にする方策を提示するとともに、薬物治療学の新たな展開を目指す。本研究を实行するためには、医学系研究科に所属する東洋医学の臨床研究者、西洋医学の臨床研究者、薬学研究科に所属する基礎研究者の緊密な連携が必要である。拠点リーダーの強いリーダーシップの下に、和漢薬研究所を基軸として合同研究チームを形成し、明確な目標に向かって若手研究者の育成に全力を挙げる体制を構築する。また、国内にとどまらず、中国など海外の人材育成をも視野に入れその拠点を形成するものである。

## <組 織>

研究組織は大きく3グループに分けられる。一つは臨床研究グループで、関節リウマチ、婦人更年期障害等の疾患を対象として血漿プロテオーム解析を行っている。



西洋医学的には同一の疾患でも、漢方医学的な視点からは亜群に分類される。これを地球儀に喩えると経度と緯度の関係にあり、これらの交差する点の特徴を科学的に明らかにすることを目的としている。二つめは病態・薬効解析基礎研究グループである。トランスジェニックマウス等の動物モデルの作成、その病態解析ならびに種々の病態モデル動物を用いた漢方薬の薬効解析等の基礎研究を行っている。三つめは天然薬物基盤研究グループである。ユーラシア大陸東部の薬用資源の探索、そのデータベースの構築と公開、DNAマイクロアレイによる天然薬物の基原・規格の評価法の開発などに取り組んでいる。

## <研究成果>

富山大学21世紀COEプログラムでは「東洋医学」と「西洋医学」あるいは「生命科学」を融合した研究に取り組んできた。3グループのうち、「臨床研究グループ」では、西洋医学的には同一とされるカテゴリーの中に多様性が存在することを「東洋の知」の切り口で捉え、これに最新技術を導入してタンパクあるいは遺伝子のレベルで明らかにすることを最大のテーマとしてきた。東洋医学の医療体系は本来、たとえ西洋医学的には同一の疾患であっても、個人の状態の違いに応じて治療法が異なる「個の医療」である。別の視点から言うと、仮に同一疾患の患者に同じ漢方薬を一律に投与したとしても、「有効か無効か」は個々によって異なる。そこで、漢方薬治療前後の血液サンプルをプロテオーム解析することにより、「有効か無効か」を予め推測できるマーカー、あるいは東洋医学的病態を反映するマーカーを明らかにするという命題に取り組み、関節リウマチにおける桂枝茯苓丸のレスポンス予測マーカー候補としてハプトグロビン $\alpha 1$ を同定した。また、関節リウマチに対する桂枝加朮湯の cDNA マイクロアレイ、およびリアルタイム PCR 法による遺伝子発現の定量解析と遺伝子発現プロファイル进行分析し、HLA-DRB1 遺伝子が関節リウマチにおける桂枝加朮湯のレスポンス予測マーカー候補分子として明らかになった。さらに、更年期障害、アトピー性皮膚炎、生活習慣病における桂枝茯苓丸の効果についても検討し、レスポンス・ノンレスポンスの存在を明らかとし、さらなるマーカー探索を進めている。「病態・薬効解析基礎研究グループ」では、アトピー性皮膚炎、脳血管障害などの病態モデル動物を用いて病態解析ならびに漢方薬の作用機構に関する基礎研究に取り組んできた。NC系マウスを用いたアトピー性皮

膚炎についての検討では、痒みの発現機構の一端を解明するとともに、温清飲の作用機序を明らかにした。また、非アルコール性脂肪性肝障害のモデル動物を作成して漢方薬の効果を検討し、小柴胡湯、黄連解毒湯、桂枝茯苓丸が有効であることを見出した。脳虚血については、新規に開発したトランスジェニックマウスを用いて血小板活性化因子アセチルヒドロラーゼ2に中枢神経保護作用があることを明らかにした。

また、脳血管性認知症モデルを用いて釣藤散には学習記憶行動障害に対する保護、および治療の効果があり、その効果にはムスカリン性 M1 受容体を介した機能促進やアセチルコリン合成酵素、ムスカリン性 M3 及び M5 受容体系の機能回復が関与することを明らかにした。さらに、腸内細菌による生薬含有成分の代謝について検討し、arctiin 投与後の尿中 (-)-enterolactone 量には著しい個人差があり、その個人差には脱ヒドロキシ化に関与する腸内細菌種の有無が関係することを明らかにした。

"天然薬物基盤研究グループ" では、ユーラシア大陸東部の薬用資源の探索、そのデータベースの構築に取り組み、和漢薬データベースの日本語版、英語版を作成し、生薬標本に関する情報を Web 上で公開した。さらには DNA マイクロアレイによる天然薬物の基原・規格の評価法の開発にも取り組み、Panax 属植物における葉緑体 trnK 遺伝子及び核 18S rRNA 遺伝子の分類群固有塩基配列を明らかにし、人参類生薬基原解析用 DNA マイクロアレイを開発した。また、アルツハイマーモデルマウスにおいて、人参類生薬 protopanaxadiol 系サポニン成分が記憶障害やシナプス減少を改善することを明らかにした。

上記の研究を遂行するには海外での拠点形成が不可欠であることから、中国の北京大学、南京中医薬大学、およびアメリカのカリフォルニア大学デービス校 COE 海外拠点を形成し、グローバルに共同研究を行った。なお、小松は天然薬物基盤研究を担当している。なお、詳しいことは [<http://www.sugitani.u-toyama.ac.jp/coe/jp/11new/new.html>] をご参照ください。



## あなたが議員に求めているものは 何ですか？

⑤⑧ 鳥 居 (旧姓 伊藤) 文子

### 1 ええ一つ、あの伊藤さんが、ぎ・い・ん？ うっそー、へえー。

学生時代のイメージではみなさん、私が議員になるとは思っておられなかったでしょう。自分自身もそう思っていたのですから。

議員になる直接のきっかけは、「『女性を議会へ』バックアップスクール」の受講です。当時(平成10年)は女性議員を送り出そうという機運が高まっている時であり、そこには、現職の議員さんやこれから議員になりたい人、なりたいた人を応援する人、そしてスタッフなどの熱い思いがあふれており、講座の内容も実務的で充実したものでした。そこででの勉強が政治の世界への関心の道を開いたんだと思います。

### 2 議会って議論するところじゃないの？

議員になって最初に感じたことは、議会運営が非常に窮屈なものだったことです。

本会議ではあらかじめ発言の通告をしなければいけませんし、委員会でも進め方が決まっています。タイミングをはずすと発言ができません。まあ、このルールをちゃんと心得ておけばいいことではありますが。

また、「質疑」では文字通り「疑いのあるところを問いたず」のであって意見はダメということになっていたり、議論のやりとりは常に議員対理事者(行政)であって議員同士の意見のやりとりは出来ません。

### 3 いい議員ってどんな人？

みなさんが選挙で投票するのはどんな人ですか？それぞれいろいろなお考えがあると思いますが、そのときの選ぶ基準・ものさしはどんなものでしょうか。選挙は個人の自由な権利ですから、とやかく言うつもりはありませんが、ちょっと考えていただきたいことがあります。

こんなことがありました。ある集まりで、ある人が、多分善意で言ってくれたんだと思いますが、「(選挙に勝つためには) 地域のことだけちゃんとやっといたらよい。舞鶴市のことは考えんでもよい。」と言いました。

#### 4 議員に求めるものは何ですか？

なぜ、こういうことが言われるのでしょうか。

それは、政治のあり方・選挙のあり方に原因があると思います。

いまさら言うまでもないことですが、地方選挙はいまでも多くは地域型選挙であって、地域の支援を得るためには地域に役立つ・地域に必要だと評価されなければなりません。そのためには、首長の与党議員として首長選挙を応援しその代わりに地域の要望をきいてもらうのです。

こういう構造が固定されてくるとまた別の弊害も出てきます。

本来、議会は行政を監視するものですが、与党議員が100%イエスマンになってしまい、首長が議会・議員をコントロールするようになりますし、密室構造を生み出す土壌にもなります。

#### 5 地方から政治を変える

議員がこうになるのは議員だけの責任ではありません。もっと自治体全体のことを考えて政策提案をしたいと思っても、議員に対する有権者の評価の基準が地域の街灯をつけたというようなことにあるならば、選挙に勝つためにはどうしても評価される方向に行かざるを得ません。

「政治のレベルは民意のレベル」といわれます。政治を作るのは有権者である市民ひとりひとりです。

これからは地方分権が進み、自分たちのまちは自分たちでつくる時代になってきます。

政治を変えるのは私たちです。改めて「どんな議員を選ぶべきか」を考えていただき、地方から政治を変えていこうと頑張っている議員を議会へと送っていた



## 宙に浮いた年金と「ねんきん特別便」

④ 石 黒 聖 啓

昨年の第166回通常国会において、『社会保険庁の改革法案』の審議の過程で「浮いた年金・消えた年金」が問題になり、年金問題が参議院選挙の目玉になったことは記憶に新しいところがあります。その後、政府は国会の審議における民主党の迫及と国民の疑惑の目にさらされ、対応策を次々と提出しました。ではなぜこのような事態が発生したのかや今後の対応について検証してみます。

### I 年金記録に対する信頼の回復と新たな年金記録管理体制の確立について

(平成19年7月5日政府)

#### 1 年金記録の名寄せの前倒し

浮いた年金5,000万件の記録と、すべての方の記録と名寄せの前倒し H20年5月→H20年3月を目途

- ・H19年12月10日の状況 ①基礎年金番号と結びつく可能性のある記録1,100万件(21.6%) ②統合済や統合の必要の無い記録1,550万件(30.4%) ③コンピューターの照合では特定できない記録1,975万件(38.8%) ④氏名補正中の記録470万件(9.2%) この結果、可能性のある記録1,100万件、850万人に年金特別便の送付することになった。

#### 2 全ての方への加入履歴のお知らせ(「ねんきん特別便」)

- (1) 「5,000万件」の名寄せの結果、記録が結びつくと思われる方へのお知らせを前倒し

①②ともに19年12月から20年3月

- ①すでに年金を受け取られている方：19年12月17日から開始し、1,030万人に送付、分かりずらいため反応悪く再送付。

- ②今後年金を受け取る予定の方：20年6月～21年3月

- (2) その他全ての方へのお知らせ

- ①すでに年金を受け取られている方：20年9～11月→20年4～5月

- ②今後年金を受け取る予定の方：35歳、45歳、58歳通知で対応→全員へお知らせ20年6～10月

#### 3 コンピュータの記録と台帳等との計画的な突合せ→進捗状況を半年毎に公表

#### 4 「年金記録第三者委員会」における記録確認

社会保険庁等に記録が無く、ご本人も領収書がない事例について、個別に、ご本人の立場に立って公平に判断。全国50箇所

## 5 相談体制の拡充

- ① 全ての市町村において、社会保険労務士の協力も得て巡回相談を実施。19年7月より
- ② 企業ごとの「年金相談窓口」の設置など、日経連、商工会議所の協力による企業の年金相談

## 6 新たな年金記録管理システムの構築（23年度中を目途）

- ① 住民台帳ネットワークと連携し、住所異動、氏名変更、死亡などが年金管理記録に反映される仕組みに転換。→ 20年4～5月
- ② 1人1枚の「社会保障カード」を導入し、安全かつ迅速な年金記録の確認を実現。

## 7 「年金記録問題検証委員会」による検証

年金記録問題の発生の経緯、原因、責任の所在等について徹底的に調査・検証

## 8 「年金業務・社会保険庁管理委員会」（仮称）の設置

年金記録問題策の対応策の着実な実施及び社会保険庁の業務の適正かつ確実な執行を管理するため、社会保険庁からの報告及び評価、監視、調整等を常時実施。

## I 記録不備の原因はどこに

- 1 高齢化社会が予想されたにもかかわらず、社会保険事務所職員の定数、特に国民年金特別会計職員を行政需要増に応じて増員してこなかったこと。
- 2 大都市部の保険料納付率の確保、未加入者の把握が困難になっていたため、職員のミスの防止や保険料納付記録の整備に手がつけられなかったこと。
- 3 近年、国民年金保険料徴収にのみ力点が置かれ、団塊の世代が急増する事態や、年金番号の統合が不十分であることがわかってきたにもかかわらず、年金記録の統合に力を注がれなかった。

## II 今後の対応として考えられること

各人で送付された「ねんきん特別便」をしっかりと確認すること、第三者委員会に申し出ること、常に自分の年金履歴を作成しておくこと等々について、機会を戴きましたので、5月の総会においてお話しする予定です。

石黒社会保険労務士事務所

## 今 思 う こ と

②③ 末 吉 太 郎

今や地球をとりまく環境の変化の万物はじめ人間の生命に及ぼす影響について深刻な事態が押し迫りつつあるとき、医系、薬系、理工系、及び人文系に掌わる人達が一丸となって大局的見地に立ち、打開の道を総括すべき時であると、痛感している昨今である。

すでに世界あけて声高く叫ばれている地球温暖化による諸対策の具現化に向けて理科系の大学では、特に力を入れる必要に迫られていることを思うとき、生命科学探究の総合組織としてその指導の任に当る大学院づくりのプロジェクトチームが考えるべきではなかろうか。

そのように考えてくると、薬系として伝統のあるわが母校の生い立ちをふりかえるとき薬化学（無機、有機）の基礎学問を土台として成長し、製薬を進めて来た歴史を今改めて思い出し、医系もとり入れ病院経営へと発展し、難病対策を進めて来た成り立ちの上に生命科学への総合組織づくりは、すでにその可能性を秘めているものと思うがゆえに今こそその強さを発揮してもらいたいのである。

あしたに神聖信仰の山立山を仰ぎ、夕べに神通の悠々たる流れに心境を洗い清よめ澄み切った大自然の中での学究を進めて頂きたい。

その使命たるや偉大なものがあると確信する。

わが愛する母校のために切に念願する

（平成二十年二月八日 記）



## “おおブレネリ”は和製スイス民謡？

④ 百 瀬 雄 章

この春に卒業 53 年目、現役勇退十年目を迎えた。未だに合成実験の夢をみるし、母校で指導された合理的な実験技術とりわけ分析化学の原理と技法はその根底をなす哲学…薬学の屋台骨を支えるもの…と共に脳裏に生々しい。しかしその 2 世紀を超えて培われた技法と合理性は今やその伝承が危うい…単位制履修制度によって！。

**学位はライセンスを表すもので“勲章”ではない！**

1970 年秋から 1 年間、私は客員教員 (Gast Dozent、有給) としてチューリヒ大学有機化学研究所 (Institut) で働いた。私のロッカーのすぐ右がカラー教授 (1937 年ノーベル化学賞) の名誉教授室の扉だった。その秋、2 度に亘ってその小柄で腰のしゃんとした“有機化学の幽霊” (大学院生たちの評) に出くわした。私のボスはその最後の直弟子だったし、学生時代に参考書として愛用した“Die organischen Chemie”の著者でもあったが、私の帰国直前に 83 才で他界された。

さて、ここでは大学入試はなく、Gymnasium の卒業試験に合格すればどの大学でもどの国の出身でも院生として入学できるが、修了には半年前に予約して受ける 3 人の教授を前にしての口頭試問に合格しなければならない。受験は 2 回限り。所定の授業料を払えば制度上 30 年間在籍できるが勝負は 2 度まで、当時でおよそ 6 割が修了せずに大学を去るとのことであった。銀行員から水道工事人まで、掃除人を除く全ての職業に実業学校修了資格が必要なギルド社会だから、アカデミックコースで修了に失敗すると、進路はセールスマンしかない。学部卒と云うものはないから、修了に当たって与えられる学位：哲学博士 (Ph.D) はいわばライセンスなのである。そう云えば大学に学部は二つしかなく、文系の Institut が属する第一哲学学部に対し理系は Philosophischen Fakultät, die Zweite であり、私はここに在籍したわけである。

スイス人には“ブレネリ”と云う名前は無い！

私の Platte の左隣は博士コース 2 年目の Herbert Koch 君で連邦の首都ベルン近郊の出身、将校 (Offizier) としての一ヶ月の兵役明けで、私とは 3 週間遅れの初対面となった。ブルーネットで 1.8メートルを越す長身、ハンサムで優しい目元の好青年で、週末になると奥さんと共に私を各地へ案内してくれた。独立記念日には実家のパーティーにも招かれた。スイスではパーティーとなれば必ず土地のうたに声を揃える。“おおブレネリ”はどの地方のうたか知ろうと、コッホ君に尋ねてみた。“そんなメロディは知らないし、そもそもブレネリなんて少女名などない”と云うのである。首都近郊出身のコッホ君の話からすると、少なくともこれはスイス民謡ではなさそうだ。彼は名前にも幾つかの知識を寄せてくれて、遂にこれが実は“Vrenelli” (フレネリ) であり、20 スイスフラン金貨 (通称フレネリ金貨、非流通、投機対象) に刻まれた少女のレリーフであることを突き止めた。因にオーストリアからの独立記念日は 8 月 1 日、木造建築の多いスイスではこの日以外は花火は法律で禁止、当日夕刻から至る所で華々しく始まった音と光の連発で賑やかな宵を楽しんだ。

妹も弟も大学受験はドイツ語だったが、私は大学で初めてこれと出会い、平田ドッペル先生に鼓吹されてテキストにあるハイネからシラーに至る全てのドイツ詩を完全に暗誦し、その独特の美しい韻を踏む詩の文化に酔っては、あゝこれが大学なんだと実感したものだ。公用語の hoch Deutsch はまちがうので、年 1 回義務づけられた綜説講演以外は専らスイス語になるんだと教えてくれた院生たちに囲まれて、私のドイツ語もさっぱり進歩しなかったが、さて “li ha kei Gau” の意味は？ 何と “Ich habe kein Geld” なのだった。

完



## 年賀状と喪中状

④ 蛭 谷 衛

年末の12月に入り、そろそろ年賀状の準備をせねばと思う頃に「喪中に付き年末年始のご挨拶をご遠慮申し上げます」の喪中状が届けられる。昨年の暮れも頂いた。一番こたえるのは同級生や同僚からのものである。「夫〇〇は〇月〇日〇〇才で永眠しました」という奥様からの葉書である。

友のありし日の面影を忍びながら奥様にお悔やみ状を書く。人生のはかなさ、いずれ自分にもその日がやってくることを承知しながらも、一抹のさびしさを味わう。

92才で元気な元老人クラブの副会長とよく話合うことがあるが、わしの年になると年賀状を出す人が段々少なくなり、私が死ぬ頃には参りにくる人が極めて少なくなるのではないかと心配しておられた。長生きは喜ぶべきか、悲しむべきか。

子供の頃の正月と70才を過ぎた頃の正月の思いを比較してみるとだいぶ意味が異なるように思う。子供の頃は正月が待ちどおしく、指を折りながら元日を迎え、おいしいご馳走にありつけ、楽しい正月を過ごした。今は元日を迎え年を越えたことに感謝しその意義を感じる。そして年を越せなかった友をしのぶ。

「明けましておめでとう」「謹賀新年」の「賀」の意味を思う。昨年の「きんき遠久栄」31号に「何とかいううちに93才を越しましたが、お陰様で元気にしております」と末吉先輩の言葉に勇気を戴き心より御祝したいと思いました。薬剤師として生きてきたことに誇りを感じています。益々お元気でお過ごしください。今年も良い年になりますように会員の皆様のご健康とご多幸をお祈りし、葉窓会の発展を心から願います。



## ヒマラヤトレッキングのご褒美

⑤ 肥 田 正 孝

昨年秋に3年ぶり3回目のヒマラヤトレッキングに行ってきた。中嶋(48回)、熊木(48回)、前田(50回)も一緒だった。

日本の野山も四季折々に素晴らしい景色を楽しめるが、ネパール・ヒマラヤまで行くと、雪を被った8,000m級の山、碧い空、零れ落ちそうに見える星、珍しい木・花、鳥を見ることができる。高峰を眺めながら歩く醍醐味は日本では体験できない。

朝は、雪化粧した主峰頂上の岩肌に朝陽があたると金色に染まり、キラリと輝やき始める。感動の一瞬である。やがて頂稜から次第に稜線全体に広がり、みるみるうちに山容全体が琥珀色に輝く。麓から仰ぎ見ていると首筋が痛くなってしまう。(朝陽の饗宴)

夜は、昼間に見た山並みが、月明かりを受けて荘厳かつ幽玄に浮かび上がり、天空一面のパノラマスクリーンに映し出される。(月明かりの饗宴)

今回はチベットへの街道を遡ったので、緑が極端に少なく、砂礫の荒野が続き、今まで見たことのない荒涼とした山肌を見た。切り立った絶壁に何千年・何万年前から強風と雨に晒されて出来た、見事な風蝕による条紋が整然と何十条も縦に並んでいる。(永遠に輝く美術の遺産)

これらの光景は、遠く日本から高い金を払って時間を掛けて、しかも最後は何日も歩いてヒマラヤに行った人だけに贈られたご褒美だと満足している。

健康に感謝するとともに、気力・体力・財力の続く限り、トレッキングを楽しもうと思っている。



朝陽があたり始めてから7分後、  
琥珀色に輝くダウダギリ(8,167m)

## 小金儲けの話 PART II

⑤ 原 秀 敏

2007年のきんき遠久栄掲載「小金儲けの話」の続編をお届けしよう。インドの株価を示す代表的指数：ムンバイのSENSEX指数はその後順調に推移し2007年2月ごろ14000台だったのが、2008年1月には過去最高の20800まで達した。わずか1年で40%以上の上昇の恩恵をこうむった人もいたことであろう。その後はご承知のごとく米国サブプライムローンの影響を受けて世界同時株安となりSENSEX指数も1月下旬で17000台まで下落した。しかし、昨年書いたように3年以上の長いスパンで臨めばきっとご褒美が得られるものと信じて疑わない。信ずる者は救われる。

ところで、日本の戦後の復興を予見した人がいたのをご存知だろうか。アメリカ人であるジョージ・アリヨシ元ハワイ州知事は小さなエピソードから、そう確信したと語る。

昭和20年暮、占領軍の若い将校であった氏は、有楽町近くの街角で靴磨きをしてもらった。寒風の中、小柄な少年が一生懸命心をこめて磨いてくれた。いい子だ。氏は進駐軍の食堂で白いパンにバターとジャムをたっぷり塗り、少年にプレゼントした。恐縮しながら少年はそのまま袋に入れてしまった。「どうして食べないの」と訪ねると「家に妹がいるんです。」年齢を聞くと少年は7歳、妹は3歳という。

アリヨシ氏は感銘を覚えた。吹きすさぶ寒風の中、着の身着のまま空腹の少年が手にしたご馳走を自分で食わず、妹に与えようとする。靴磨きをして妹を育てようとする7歳の少年がこの世界のどこにいるだろうか。

富士山がよく見える焼け野原の東京。モノとしての日本は消失した。しかし日本人の精神は滅んでいないのではないか。片隅の少年があんなに立派に振舞えるのだ。日本はこれで終わらない。必ず蘇る。そう確信したというのである（日経新聞1月18日より引用）。

勤勉な日本人はこのサブプライムショックから立ち直れるだろうか。そうあってほしいものである。外国人投資家が日本から手を引きつつあるいま、注目は高金利の外国債券である。年利10%を超えるものもある。円高が進んで今後円安に向かう可能性が高いいま、Next11（昨年のきんき遠久栄参照）のひとつトルコのリラ建ての債券を仕込み、10%以上の利息とリラ高（円安）

の効果で小金が得られるかもしれない。

（2008年1月25日記）

## 日本の辺境の地「しまね」から アジアの最貧国へーヒトとの出会い

島根大学医学部環境生理学

⑥ 橋 本 道 男

正月松の内に、アジアの最貧国であるバングラデシュを訪問したときの紀行文を紹介します。

私は韓国・中国を含めアジアへは一度も足を踏み入れた経験がなかったのですが、正月5日からバングラデシュの国立マッシュルームセンター主催の、国際セミナー出席の為に2泊4日の旅に出かけました。初乗りのシンガポール航空の美人スッチーの民族衣装に悩殺されながら深夜ダッカ空港に到着、深夜なのに車とヒトの騒音で鍋をひっくり返した様な別世界がそこには広がっていました。当地では1～2月は乾期にあたり一年中で最も過ごしやすい時期とのことでしたが、気温は20～30℃、日中は暑く、かつ、埃とスモッグ、さらには人力車、3輪車タクシー、そしてぼこぼこのバスと自家用車が、信号機の無い道路を縦横無尽に往来するので、全ての幹線道路は慢性的な交通渋滞でした。

さらには、乗用車が交差点に止まると、何処からともなく物売りの子供・老人・身障者がやって来て車を取り巻くので、ドライバーにとっては人身事故も起こさずにやり過ごすのは至難の業の様でした。ダッカには農村から集まった労働者であふれていました。これが俗に言われるアジアのエネルギーでしょうか？

私とバングラデシュとの関わりは、10年前から5年間、島根医科大学（現、島根大学医学部）で学位研究指導をした、現在ジャハングルノゴール大学生物化学部分子生物学講座の准教授であるホサイン・シャハダト博士との交流がきっかけでした。セミナーが開催されたマッシュルームセンターは、日本の国際協力機構 JICA の事業として15年程前に建物だけが建築され、その後開店休業状態だったのを、最近になりホサイン博士の同僚が稼働を始めたのですが、技術不足で生産性と需要が共に軌道に乗らない状況でした。国際セミナーは、我が国から技術導入をする為の資金援助を JICA から再び獲得する為に画策された会議だと後で知りましたが、日本から私を含め3人が招待され参加

しました。

会議には、バングラデシュ農林省農業政策局長やダッカ大学、ジャハングルノゴール大学の両学長等、100名ほどが集まり盛会に行われましたが、私の目下の研究分野は脂質栄養学であり、マッシュルームとは少し異質ですので、「脂肪酸栄養とヒトの健康」について簡単な講演を行いました。

私の渡航の本来の目的は、ジャハングルノゴール大学生物化学部との交歓会でした。手土産としてパソコンに接続できるプロジェクターを贈呈したところ、生物化学部にはプロジェクターが無く大変喜ばれ、交歓会はいっそう和やかに行われました。集まっていた20人ほどの学生の中に流暢な日本語で話しかけてきた2人の学生に興味をひかれ多々話を聞いたところ、日本へ留学するために大学の日本語コースで日本語会話を習得した、との事でした。彼ら2人の日本へのあこがれは強いものでした。生物化学部の研究室は、日本の中学校の理科室より設備がなく、研究は勿論の事、教育すらままならない状況でした。教官は、ロンドン大学、東京大学、東北大学などで学位を取得した極めて優秀な研究者ばかりですが、せっかく200~300倍の狭き門をくぐり准教授や教授として帰国しても、習得した実験技術を何も発揮出来ない状況がそこにはありました。研究室には測定機器類は何もなく、pHメーターすらみあたりません。

この優秀な頭脳集団である教官とやる気満々の学生をなんとか日本の研究活動に活かせないか？これが今回のテーマであります。小泉内閣の行革推進の結果、地方大学医学部の基礎系講座は壊滅の状態にあり研究の継続が危ぶまれています。追い討ちをかける様に研修医制度が始まり、基礎系講座にはマンパワーである学生が入局しません。また、大学の中期目標計画で医師国家試験の合格率を95%と設定した為に、教官は医学教育に時間を注がざるを得なく、そのため必然的に研究活動は海外からの留学生に頼らざるをえません。しかし、優秀でかつ勤勉な留学生は、ほとんど地方大学を希望しません。そんな中で出会ったのがバングラデシュの若い教官と学生でした。いろいろ問題の多いイスラム圏の中でもバングラデシュの国民性は比較的勤勉で穏やかである、と聞いています。事実、私が学位指導したホサイン博士は勤勉実直であり、島根医科大学で学位取得後、本学における最初で最後の日本学術振興会外国人特別研究員になり、多くの研究成果をあげ、現在は准教授となっています。この国の研究活

動を学術交流により花を咲かせる事は出来ないか？

バングラデシュの国旗は平和の色である緑地に赤の日の丸で、日本の白地に赤とよく似ています。バングラデシュはアジアの最貧国ですが、かつての日本人の様に勤勉で優秀な人材が多く埋もれています。島根に定住してから30年以上が経ちますが、この間、特に法人化後、大学も大きく様変わりをしました。その第一は任期制の導入です。3年、5年で成果を出そうと思うと、短期間で結果の出るin vitroの実験系や流行のテーマを選択するのが手っ取り早く、長い研究期間を必要とする動物やヒトを対象とした実験系は敬遠されます。しかしながら日本の辺境の地にある「しまね」から情報発信できる研究は、研究費が嵩むin vitroを中心とした研究よりも、時流に乗らないでじっくりと腰を据えて取り組む息の長い研究が優位である、と考えています。その為には優秀で実直な若いマンパワーが必要です。バングラデシュで出会った学生・研究者を日本で活用出来るのは、日本の中で彼らと同じ様な境遇にある辺境の地「しまね」が最適ではないか……。そんな想いを巡らせながら帰路につきました。



## 2年制の生涯学習短期大学 「レフネック」での法律学科の勉強

⑤⑧ 豊 田 繁

川西市は、平成6年4月から専門的な内容を継続的に学習するため、2年制の生涯学習短期大学「レフネック」を開設しました。その17-18年度の2年間で法律学科を受講し卒論（一応そういうことになっている）という簡単なまとめを書きましたので報告します。レフネックとは以下のような略号です。

Recurrent Human Network City

Recurrent = 回 帰（社会人の学習）

Human = 人 間

Network = 団 結

City = 都 市

講義（時間は基本的に90分）は、2年間で40回です。入学資格は、市内在住、在勤者で、修了するまでの2年間協調性をもってやり遂げる学習意欲のある人で受講料は、年1万5千円でした。

陪審員制度や、裁判を実際に大阪高等裁判所に見学にいったりし、これからの日本の司法についての考え方を、早めに知り自覚することができました。また講師陣は大阪弁護士会の弁護士の先生方で、普通では聞けない高度な話を聴講できました。私の興味を持ったのは憲法改正とその草案でした。よってその論点を浅学ながら書いたつもりです。安倍政権では憲法論議を将来にしようという意欲がありましたが、福田政権になり「それどころではない」という感じです。ともあれ以下をご笑覧いただければ幸いです。



## 憲法改正(安全保障)についての論点

法律学科 豊 田 繁

2007年3月

9月に安倍政権が発足、10月には北朝鮮が核実験を実施し、きな臭い時代になりました。高田純（札幌医科大学教授）のシミュレーションによりますと、もし昼間の東京都心上空で、広島クラスの核弾頭が炸裂すると45万人が死亡するそうです。

一方、国民投票法案が通常国会の会期末に提出され継続審議になったことはご存知でしょう。安倍政権での目的は憲法草案として、①自民党要約(050404)、②民主党案(050425)、③読売新聞社案(2004)などが机上に上がってその憲法改正の手続きであります。私の理解では、それぞれの案について国民主権（国民が国家統治の最高の地位にある）、基本的人権（人権の保護）、平和主義（戦争の放棄、武力の不保持、しかし国連憲章での自衛権は認めている）の憲法の三大原則については自民党・民主党ともに合意があるものと考えられます。しかし、硬性憲法（改正条項があるが改正が困難）であり衆議院・参議院の両院のそれぞれにおける総数の三分の二以上の賛成による発議、国民の過半数の承認となっています。

そこで「国民投票法」が必要になってくるわけです。

憲法成立過程について考証しますと1)日本：「戦後民主主義が『与えられた民主主義』であつたし決して勝ちとったものではないのは確かです。その理由は満州事変以来の15年戦争というのがどういう形でおこなってきたのかというプロセスについて歴史的検証、あるいは戦争責任の問題と言うものを結局、日本人は正面から主体的に向き合ってこなかったというのが第一点にある。つまり、勝者のアメリカが敗者の戦争責任について断を下しただけということであって、そのアメリカが、日本を非軍事化し、民主化を行った。非武装化して、アメリカ流の民主主義を具現したのが日本国憲法だ。」、又、2)アメリカ：アメリカ合衆国憲法前文から「われわれ合衆国の人民は、正義を樹立し、国内の静穏を保証し、共同防衛を催し、我々と我々の子孫の上に自由の恵沢を確保する目的をもって、憲法を制定する」最後に3)北朝鮮：「発展途上国のこの国で国家主権が独立と同義であり、固有の軍隊・軍事力が、この主権の保証であるとともに象徴であることは疑いないことです」、第二次世界大戦後の非植民地化するなかで、国家は普遍化し、人類の間には約170の国家が

パッチワークのように存在するのであります。そこで今、北朝鮮は国連で宣戦布告と言いました。アメリカは、日本が攻撃を受けたときイラク戦の時のように2900名の犠牲者を払って日本を防衛してくれますか？否です。安全保障の論点を比較するとA) 現日本国憲法(戦争放棄)、B) 帝国憲法(天皇は戦を宣し、和を講じる)、C) ①案は自衛の為自衛軍を保持する。総理大臣が最高指揮権および文民統制、D) ②案は制約された自衛権、国連主導の集団安全保障活動、E) ③案は自衛の為の軍隊もつか徴兵ではない。』です。私はC案を指示します。国の安全保障について国民ひとりひとりがしっかりとした見識を持つべきです。

以 上

## ホ ト ト ギ ス

㊦ 渡 辺 卓 司

『卯の花の匂う 垣根に、時鳥(ホトトギス) 早も来鳴きて、忍び音もらす 夏は来ぬ』

小学校の時、音楽の時間に習った歌である。私は茨木市の山際に住んでいるが、初夏になると近くの安威(あい)小学校でも、遠くに鳴くホトトギスの声を聞くことができる。毎週土曜日になると私は食材を求めて山の中にある「見山の郷」に出掛ける。この施設は茨木市が建てたもので、我が家から車で20分ほど北にあり、おいしい野菜を得ることができる。初夏になると、その道々、卯の花が咲き乱れる。運が良ければ、ホトトギスの声を聞くことができる。

去年はホトトギスの声を堪能した。6月8日に彩都(さいと)にいた時、遠くで鳴く声を聞いたのが初めてである。翌日の土曜日、見山の郷に出掛ける途中、ホトトギスの鳴く声を遠くに聞いた。その次の土曜日は、道のすぐそばで鳴いたので驚いた。しかし、姿は見えなかった。一番近くで聞いたのは6月18日であった。夜11時10分過ぎ、自宅の洗面所で手を洗っていた時、突然鳴き声がしたので、思わず玄関の外に出て声を聞いた。私の家は太織冠神社の直ぐ下にあり、この神社の林で鳴いていた。しばらく鳴いていたが、そのうち、鳴きながら、声がだんだんと遠ざかっていった。私は立ちつくし、感激しつつホトトギスの声を追った。この日は幸運だった。しばらくした12時40分過ぎ、チェ

ロのCDを聞いていると、今度はかなり近くで再び鳴いた。すぐ音楽を消し、リビングの窓を開けた。まだ泣き続けているので急いで、静かに2階に上がって聞いた。家のすぐ前の林で鳴いていた。20~30メートル程の距離だった。テッペンカケタカ、テッペンカケタカ・・・・・・ホトトケサ、ホトトケサ、ホトトケサ と最後まで鳴いた後、また最初から、テッペンカケタカ、テッペンカケタカと鳴きながら、次第に遠ざかっていった。私はしばらく動けなかった。5年程前、深夜に目覚めたとき、遠くにその声を聞き、感激したが、2度にわたりこんな近くで聞いたのは初めてだった。

ホトトギスは東南アジアから渡ってくる夏鳥である。日本に着いたばかりの彼らは夜鳴く。この初音を忍び音という。テッペンカケタカ、テッペンカケタカ・・・と闇を裂いて鳴くその声は、近くで聞く限り、声をひそめて鳴いているようには思えない。ホトトギスは飛びながら鳴くので、夜、遠くに鳴く声をその夏初めて聞くのが、忍び音にふさわしいと私は思う。ホトトギスと言う名前は、テッペンカケタカという高い、つんざく声から、次第に声を落として、最後に鳴く"ホトトケサ"に由来すると言われている。また、ホトトギスはカッコウ、ツツドリと同じカッコウ目に属し、自分で雛を育てず他の鳥に托卵する。托卵する鳥はそれぞれ異なるが、ホトトギスは主にウグイスに托卵する。去年の7月8日の午後、見山の郷に出掛けた。この近くに100メートルぐらい長く続く紫陽花の丘がある。紫陽花を眺めながら歩いて丘を往復する間中、ホトトギスは鳴き続けていた。この声の他に、じっと聞いていると遠くで3ヶ所ぐらいからウグイスの声が聞こえていた。ここで托卵があってもおかしくないとは思った。ウグイスののどかな声に比べ、ホトトギスの声は鋭い。加えて、ホトトギスの口の中は赤いので、ホトトギスは血を吐くまで鳴くと言われている。ところが、こんなにまで衝撃的なホトトギスは、ある日忽然と姿を消す。不思議な鳥である。

ホトトギスに当てる漢字は多い。杜鵑・霍公鳥・時鳥・子規・杜宇・不如帰・杳手鳥・蜀魂が広辞苑には紹介されている。杜宇は蜀の望帝杜宇に因んでいて、杜鵑・杜宇・蜀魂・不如帰はいずれも杜宇の伝説に因むものである。古来、日本の文学でも、特に和歌に現れ、あやなしどり・くつつどり・うづきどり・しでの

たおさ・たまむかえどり・夕影鳥・夜直鳥（よただどり）などの名がある。人々はホトトギスの初音を待ち望み、忍び音を聞くことに思いを馳せ、その初音を聞いて田植えを開始したのであろうか。中でも壮絶なのは正岡子規である。1889年22歳の5月9日夜、彼は突然多量の咯血をした。そこで、ホトトギスの句を四、五十句作り、初めて子規と号した。結核を病み咯血した自分自身を、血を吐くまで鳴くと言われるホトトギス(子規)に喩えたものである。中でも、『卯の花の散るまで鳴るか子規』は、白い卯の花と、赤く咯血した驚きが重なり合って、しかも近いうちに死ぬであろう自分を客観的に見据えた感があり、その生き様には迫力がある。

不如帰 飛び去りゆきて 今何処  
来者如帰とはいかぬ鳥か？ 今年もあらわれるだろうか？  
魅惑に満ちた鳥である。



挿画：逸見 誠三郎

## 『芍薬会』のあゆみ

㊦ 吉 田 重 子

芍薬会とは、その名のとおりに、女性のための会です。平成15年10月に発足し、毎年10月に見学、美味しい食事そして楽しいおしゃべり（情報交換）も楽しんで来ています。

- ・第1回：平成15年10月 奈良県 大宇陀 22名参加  
森野旧薬園 大願寺薬草料理
- ・第2回：平成16年10月 奈良県 あすか 22名参加  
檀原考古学研究所 古代食「万葉あすか葉盛御膳」
- ・第3回：平成17年10月 兵庫県 宝塚 22名参加  
宝塚大劇場月組公演 和食「楠」
- ・第4回：平成18年10月 京 都 20名参加  
武田薬品 京都薬用植物園 がんこ二条苑
- ・第5回：平成19年10月 徳 島 18名参加  
鳴門渦潮観潮 鳴門グランドホテル

1人では行きたくてもなかなか行けないところや、他の方にも紹介したいところなどを選んで企画してきました。

第6回の今年は大阪方面で面白い企画を練っています。毎回薬窓会から3万円の補助も頂いております。

どうぞ女性の会員の皆様、たくさんのご参加をお待ちしております。

すばらしく勉強になります・・・。

## ★ 事務局より★

110年以上の歴史と伝統ある母学出身の皆様、富山薬窓会近畿支部事務局では支部の運営や行事について、皆様のご意見を広く承りたいと思っています。

毎月第三金曜日に開催しています例会“山金会”、あるいはこの“きんき遠久朵”の紙面をご利用下さい。

また、Eメール等で、

・支部長 柚本：aya-yumoto@gaia.eonet.ne.jp

・幹事長 渡辺：watanabe@peptide.co.jp

・事務局長 原：hidetoshi.hara@shionogi.co.jp

にご連絡下さい。特に近畿支部会員のEメールアドレス一覧表を作成中ですので、皆様のアドレスを事務局までお知らせ下さい。

相互の連絡に広く利用したいと思っています。

### 年会費 (1,000円募金)について：

会報誌きんき遠久朵の発行と、総会の案内などの諸運営の一助に当てるため、毎年1,000円の年会費を募集しています。このため、総会案内と同時に振替用紙を同封しています。年会費を納めていただいた方には会報誌を送付させていただきます。近畿支部の活動と運営にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。なお、総会出席者の会費の中には年会費を含ませていただいています。

近畿支部会になって7年、大所帯になり、また事業の立ち上げもあり経費も増大しています。先輩がたの篤志による基金の利息は、昨今では微々たるものとなっており基金の取り崩しで補っている次第です。

事情をよろしくご賢察下さい。

## 芍薬会へのお誘い

### 女性会員の皆様

芍薬会は今年で6回目を迎えます。昨年は10月28日(日)、鳴門のうずしお見学をしました。

第6回の今年は、大阪方面で面白い企画を練っています。費用は3,000円程度ですので、どうぞ女性の会員の皆様、たくさんのご参加をお待ちしております。

・連絡先：57回 吉田 重子  
TEL 0797-86-7080



※詳細が決まり次第、改めてご案内いたします。

## 平成19年度 支部活動

### ■近畿支部総会

平成19年 5月27日

於：大阪弥生会館

### ■芍薬会 (女性会員サークル) 平成19年10月28日

徳島にて、鳴門渦潮観潮を開催

### ■山金会 (毎月第三金曜日)

於：新阪急ホテル Beets

平成19年 5月17日 / 6月15日

7月20日 / 8月17日

9月21日 / 10月19日

11月16日 / 12月21日

平成20年 1月18日 / 2月15日

3月21日 / 4月18日

### 富山薬窓会近畿支部

## 収支決算報告書

2007.4.1～2008.3.31

### 〈 収 入 の 部 〉 (単位：円)

|            |         |
|------------|---------|
| 支部総会 (71名) | 463,000 |
| 年会費 (86名)  | 88,000  |
| 利息 (住友信託)  | 1,418   |
| 基金より繰り入れ   | 634,288 |
| 雑収入        | 3,000   |
| 前年度より繰り越し  | 132,744 |

計 1,322,450

### 〈 支 出 の 部 〉

|           |         |
|-----------|---------|
| 支部総会費     | 585,889 |
| きんき遠久朵発刊費 | 264,677 |
| 年会費手数料    | 9,070   |
| 芍薬会助成金    | 30,000  |
| 山金会 (12回) | 388,315 |
| 慶弔費       | 20,000  |
| 次年度に繰り越し  | 24,499  |

計 1,322,450

近畿支部基金 2008.3.31

昭和39年住友信託 1,020,000

昭和56年住友信託 1,500,000

平成2年北陸銀行 6,079,374

(利息繰り入れ)

## 平成19年度 年会費協力者

|    |        |    |        |    |        |    |        |
|----|--------|----|--------|----|--------|----|--------|
| 18 | 新宅良造   | 47 | 今村俊雄   | 56 | 荻野嘉丈   | 68 | 正本留美子  |
| 23 | 末吉太郎   | 47 | 保一義子   | 56 | 安本嘉代子  | 69 | 大江桂文子  |
| 24 | 池内勝美男  | 47 | 中村梅子   | 57 | 井上峰子   | 69 | 横田中裕孝  |
| 25 | 榊原藤昭徳男 | 47 | 濱田信精   | 57 | 植山宏敏   | 70 | 田中尾純夫  |
| 26 | 斎島義介   | 47 | 東尾元紀子  | 57 | 小野坂優子  | 71 | 西尾晶    |
| 29 | 田中島茂   | 47 | 平尾宏悦子  | 57 | 阪上洋成子  | 71 | 小田澤豊平  |
| 32 | 中野昌純   | 47 | 石原悦彦   | 57 | 西藤村重躬  | 72 | 熊鶴登谷浩洋 |
| 33 | 安田美千雄  | 48 | 小野善弘   | 57 | 吉田藤正泰  | 72 | 能登橋井村  |
| 34 | 前田一男   | 48 | 坂本野紘   | 58 | 近上田見代子 | 74 | 高荒西長杉  |
| 35 | 西尾正英   | 48 | 菅野田和夫  | 58 | 掛山仲井朝安 | 75 | 荒井浦本尾  |
| 36 | 西堀端栄三男 | 48 | 野田晋一   | 58 | 勝田中    | 76 | 西村幸篤   |
| 36 | 前田泰男   | 48 | 飯野紘子   | 58 | 田井朝安   | 84 | 杉八     |
| 38 | 野大橋保子  | 48 | 中嶋昌弘   | 58 | 湯本アヤ子  | 85 |        |
| 39 | 大沼美智一郎 | 48 | 今村正衛夫  | 58 | 柚米久居   |    |        |
| 39 | 斉藤隆良   | 49 | 島武元昌利  | 58 | 米武村渡吉  |    |        |
| 40 | 人奥根朗光  | 49 | 武福山本   | 58 | 武鳥上田   |    |        |
| 41 | 奥曾奥章   | 49 | 福山和川   | 59 | 村渡吉太   |    |        |
| 41 | 奥奥章    | 49 | 山和田内   | 59 | 渡吉太    |    |        |
| 41 | 榊原野永   | 49 | 和川崎慎之助 | 59 | 原渡地    |    |        |
| 42 | 相方瀬藤秀夫 | 50 | 山崎純子   | 59 | 渡福宮    |    |        |
| 42 | 百加菊長   | 51 | 河坂永東   | 59 | 福宮豊    |    |        |
| 43 | 加菊長    | 51 | 坂永東    | 60 | 宮豊     |    |        |
| 43 | 黒田富衛   | 51 | 横山邊和子  | 61 | 菊地みつ子  |    |        |
| 43 | 蛭谷川智博  | 51 | 渡肥田正孝  | 61 | 菊地裕子   |    |        |
| 44 | 市川上昭平  | 51 | 桂藤征美子  | 62 | 津釜谷美恵子 |    |        |
| 44 | 山崎拓一   | 52 | 加藤博康子  | 63 | 釜貞包由紀  |    |        |
| 44 | 山川内潔子  | 52 | 一柳葉敏子  | 63 | 豊横田喜三郎 |    |        |
| 45 | 高橋明子   | 53 | 桎菊井榮子  | 63 | 横川村裕二  |    |        |
| 45 | 中本林多芳  | 53 | 天津井憲一  | 63 | 羽根田健二  |    |        |
| 45 | 溝口久雄   | 54 | 菊水秦宗弘  | 64 | 吉田好悦子  |    |        |
| 45 | 吉垣怜雄   | 54 | 秦井幸子   | 64 | 山田悦健   |    |        |
| 46 | 荒見木聖一  | 55 | 亀持家照子  | 65 | 穴山本哲善  |    |        |
| 46 | 石島多浦健  | 55 | 奥栗原田章子 | 66 | 山大江谷純  |    |        |
| 46 | 森三島多浦健 | 56 | 栗富濱島健  | 67 | 大服部    |    |        |
| 46 |        | 56 |        | 68 | 河口     |    |        |

# 富山薬窓会近畿支部

## 役 員

(2006年 6月1日承認)

|         |                                                                                          |                                                                            |                                                                            |
|---------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 支 部 長   | (58) 柚本アヤ子                                                                               |                                                                            |                                                                            |
| 副 支 部 長 | (61) 豊田 繁                                                                                | (59) 村上牧子                                                                  |                                                                            |
| 幹 事 長   | (59) 渡辺卓司                                                                                |                                                                            |                                                                            |
| 事 務 局 長 | (59) 原 秀敏                                                                                |                                                                            |                                                                            |
| 事 務 局   | (41) 奥村隆一                                                                                | (72) 鶴澤 豊                                                                  |                                                                            |
| 山 金 会   | (75) 荒井 実                                                                                | (60) 宮本金夫                                                                  | (58) 上田泰生                                                                  |
| おくだゴルフ  | (54) 菊井 惣                                                                                | (57) 西 洋寿                                                                  |                                                                            |
| 芍 薬 会   | (57) 吉田重子                                                                                |                                                                            |                                                                            |
| 幹 事     | (56) 吉川和憲<br>(60) 小林正明<br>(63) 釜谷美恵子                                                     | (57) 小野坂敏見<br>(60) 竹村眞知子<br>(63) 豊田由紀                                      | (57) 阪上優子<br>(61) 菊地武夫                                                     |
| 評 議 員   | (40) 人見五郎<br>(44) 山崎昭平<br>(45) 本多芳明<br>(47) 中村信一<br>(52) 桂 恵美子<br>(53) 菊井 勲<br>(58) 勝山 巖 | (41) 仲野永二<br>(44) 山住拓一<br>(46) 森野行雄<br>(48) 中嶋 啓<br>(52) 一柳博康<br>(56) 濱島健二 | (43) 蛭谷 衛<br>(45) 溝口 正<br>(46) 石黒聖啓<br>(48) 小野壽彦<br>(52) 中川久夫<br>(56) 荻野嘉丈 |
| 顧 問     | (36) 堀端栄之助                                                                               | (48) 飯田晋一郎                                                                 |                                                                            |

( ) 内 卒業回数

## ● 2007年度 富山大学近畿薬窓会ゴルフ大会報告 ●

### 秋季大会：

2007年10月20日（金曜日） 箕面ゴルフ倶楽部 参加者 8名  
優勝：本多 芳明（NET：76.0） 2位：伊藤 誉志男（NET：77.2）  
3位：菊井 惣（NET：79.4） B/B：溝口 正（NET：83.0）  
NP：市川 智博 DL：溝口 正、上田 泰生、菊井 惣

さて長年にわたり当ゴルフ大会をサポートして頂いた藤村元就さん(57回)は2008年2月、定年と同時に郷里の埼玉に帰郷とのことで今回の大会が最後になりました、紙面をお借りして長年のご苦勞に感謝申し上げたいと思います。

### 春季大会：

2008年3月7日 幸い晴天に恵まれ無事にワンラウンドのプレーを終えることができました。

8名の参加者で優勝を競いました。グリーンの仕上がりも大変よく皆さんパットで苦しめられた様ですが、結果は下記のとおりです（ダブルペリアにて算出）。武中さんは昨年の3月28日の優勝に引き続き二連覇の快挙を成し遂げられました。

〔優勝〕 武中 正衛、〔準優勝〕 山岡 薫、〔三位〕 小野 寿彦、  
〔五位〕 島 司、〔BB〕 伊藤 誉志男  
DL：市川 智博、菊井 惣 NP：溝口 正、菊井 惣

2008年度は、箕面ゴルフ倶楽部にて2008年9月5日（第一金曜日）、2009年4月3日（第一金曜日）に決まりました。沢山のプレーヤーが万難を排し参加されますことを期待しております。（各4組予約）

尚、9月開催募集は7月上旬、来年4月開催は1月上旬に改めてご案内する予定ですので、よろしくお願いします。

（開催コース：箕面ゴルフクラブ）たくさんの方の参加をお待ちしております。  
改めてご案内方募集をいたしますので、その節には宜しく願いいたします。

（近畿薬窓会ゴルフ大会運営サポーター一同）



～2007年10月20日 箕面ゴルフ倶楽部にて～



～2008年3月7日 箕面ゴルフ倶楽部にて～

